



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月13日

上場会社名 株式会社シード 上場取引所 東
 コード番号 7743 URL <https://www.seed.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浦壁 昌広
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 管理本部長 (氏名) 杉山 哲也 TEL 03-3813-1111
 四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	15,947	7.1	1,307	173.9	1,367	151.0	826	519.2
2023年3月期第2四半期	14,884	6.1	477	△36.5	544	△23.6	133	△52.1

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 928百万円 (94.4%) 2023年3月期第2四半期 477百万円 (34.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	33.02	—
2023年3月期第2四半期	5.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	42,915	12,764	29.1	499.33
2023年3月期	40,011	12,145	29.6	473.83

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 12,500百万円 2023年3月期 11,861百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日（2023年11月13日）公表いたしました「通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,000	7.9	1,750	177.8	1,750	215.7	1,100	—	43.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2023年11月13日）公表いたしました「通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	25,033,422株	2023年3月期	25,033,422株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	75株	2023年3月期	32株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	25,033,354株	2023年3月期2Q	25,033,392株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（第2四半期決算説明会内容の入手方法）

当社は、2023年11月16日（木）に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会の動画及び資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、コロナ禍の影響を脱し、インバウンド需要や個人消費の拡大が牽引し緩やかながらも回復を続けております。その一方で、エネルギー・原材料価格の高止まりや、金利上昇局面であるものの各国との金利差から円安の是正は見られず、輸入コストの増加を背景とした物価上昇が長期化しております。円安の影響で一部輸出企業では業績の上振れが見込まれておりますが、原油価格の一段の上昇や更なる円安進行も想定される状況で、物価上昇と所得の改善が錯綜し、先行きは来春以降の個人可処分所得の改善が実現するかに景気改善の持続性が依拠すると思われまます。終結が見えないロシアのウクライナ侵攻と、中東の軍事衝突も経済の不確実性を増しております。

国内のコンタクトレンズ市場におきましては、商品の供給不安が依然としてあるものの、行動制限解除による消費活動の活発化により、需要が持続的に増加しております。加えて、1日使い捨てタイプへのシフトが依然続いていることや、近視の低年齢化が世界的な社会問題として注目される中で、オルソケラトロジーレンズの普及、遠近両用及び乱視用コンタクトレンズ等の伸長により、金額ベースでの市場規模が拡大を続けていく流れは継続していくと推測されます。

当社が展開をしております、アジアから欧州に至る海外のコンタクトレンズ市場におきましては、国や地域による景気の影響を受けながらも、アフターコロナによる需要拡大と近視人口の増加を要因として伸長しておりますが、中国では景気減速と消費低迷が顕著であります。

このような状況下で、当社グループでは、3ヶ年中期経営計画（2021年4月～2024年3月）の最終年度である2024年3月期も引き続き『「見える」に新たな価値を』を実現していくために、「市場競争力の強化・収益力の強化」、「信頼されるモノづくり」、「SDGsの推進」、「安定した株主還元」を最重要施策として、日本国内での安定した成長を軸に、海外各国での需要回復を積極的に取り込むことにより海外事業規模の拡大と収益基盤の強化を進めております。現在、コロナ後の需要回復と他社の供給不足によるプラスの影響もあり、売上自体は順調に推移する一方、当社におきましても、フル生産を継続しておりますが、出荷量が供給量を上回る状況が継続しており、主力商品である「ワンデーピュアシリーズ」の国内外向け一部商品において在庫の逼迫による納期の遅延が発生しております。そのような中、今後の成長戦略を実現するためには、当社は安定した商品供給と市場競争力を高める新商品の量産体制を整備し、生産力全体の強化が不可欠であると考えております。鴻巣研究所において、2024年3月期には経年した1号棟の生産設備の更新及び3号棟のライン新規増設により月間最大計画枚数を現在の5,300万枚から5,800万枚へ、2025年3月期には2号棟別館新設により月間最大計画枚数を5,800万枚から6,500万枚へと引き上げる計画を進めております。生産体制強化の結果、単月ベースで生産実績は既往ピークを更新しており、計画が進捗する第3四半期以降は更に生産能力の拡大が見込まれます。

商品戦略としましては、主力商品である国産の「ワンデーピュアシリーズ」に対する需要の高まりを背景に、乱視、遠近両用コンタクトレンズといったスペシャリティレンズの需要を伸ばすと同時に、2023年3月期に市場に投入したシリコンハイドロゲルレンズの2商品「シード1daySilfa（シルファ）」、「シードAirGrade 1day UV W-Moisture（エアグレード ワンデー UV ダブルモイスタチャー）」並びにカラーコンタクトレンズ「Belleme（ベルミー）」、オルソケラトロジーレンズ「ブレスオーコレクト®」の普及拡大により更なる需要創出を目指して販売を行っております。

これらの事業活動の結果、当第2四半期連結累計期間において、主に国内のコンタクトレンズ需要が順調に拡大を示したため、売上高は15,947百万円（前年同期比7.1%増）となりました。

利益につきましては、売上高増加及び生産数量の増加に伴う原価率低減や2023年3月期第2四半期以降からの価格改定効果により、売上総利益が増加し、販売費及び一般管理費も適切にコントロールした結果、営業利益1,307百万円（前年同期比173.9%増）、経常利益1,367百万円（前年同期比151.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は826百万円（前年同期比519.2%増）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

(コンタクトレンズ・ケア用品)

国内のコンタクトレンズにつきましては、引き続き主力商品である国産の「ワンデーピュアシリーズ」を中心とし、2つの異なるベクトルを持つシリコンハイドロゲルレンズや特に市場での伸長が最も見込まれる遠近両用コンタクトレンズ等の高付加価値商品の拡販に注力してまいりました。「ワンデーピュアシリーズ」は需要増により前年同期比10.5%増加いたしました。就寝時に装着し日中裸眼で視力矯正効果が得られるオルソケラトロジーレンズにつきましては、前年同期比14.9%増と大きく伸長いたしました。サークル・カラーコンタクトレンズにおきましては、販売チャネルの多様化や競合商品の増加の影響もあり、前年同期比0.5%減と概ね横ばいでの推移となりました。

ケア用品につきましては、オルソケラトロジーレンズ関連のケア用品が増加した影響により、前年同期比4.5%増となりました。

海外へのコンタクトレンズ輸出等につきましては、国や地域により差はあるものの、欧州向けや東南アジア向け

が堅調に推移しました。また、合弁企業で申請をしておりました、オルソケラトロジーレンズの認可が取得出来たため、中国でのオルソケラトロジーレンズ製造に対する材料供給も開始されました。これらの増加が、中国向けの製品輸出の停滞をカバーし、前年同期比15.5%増となりました。

その結果、セグメント全体の売上高は15,884百万円（前年同期比7.2%増）、営業利益1,886百万円（前年同期比80.2%増）となりました。

（その他）

その他につきましては、眼内レンズの売上が減少した結果、売上高は62百万円（前年同期比0.6%減）、営業損失は4百万円（前年同期営業損失1百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は、42,915百万円となり、前連結会計年度末から2,903百万円増加いたしました。主な要因としては、鴻巣研究所での新規設備の導入、3号棟底地購入、新社屋関係の投資により有形固定資産が増加したことや売上増加に伴い現金及び預金が増加したことが挙げられます。

負債につきましては、30,150百万円となり、前連結会計年度末から2,285百万円増加しております。主な要因としては新規設備導入によるリース債務の増加が挙げられます。

純資産につきましては、12,764百万円となり、前連結会計年度末から618百万円増加しております。主な要因としては、利益剰余金が増加したことが挙げられます。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、5,674百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は、3,078百万円（前年同期1,307百万円の増加）となりました。税金等調整前四半期純利益の計上1,344百万円や減価償却費の計上1,263百万円、棚卸資産の減少306百万円により資金が増加しております。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は、1,741百万円（前年同期638百万円の減少）となりました。これは主に、鴻巣研究所の新規設備導入や新本社の建設に関する有形固定資産の取得1,678百万円が要因となっております。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果減少した資金は、615百万円（前年同期642百万円の減少）となりました。資金減少の主な要因は長期借入金の返済1,017百万円やリース債務の返済490百万円です。一方、資金増加の主な要因は短期借入金の純増加額333百万円です。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、当第2四半期迄の進捗状況を踏まえ、2023年5月12日に公表いたしました業績予想から修正しております。詳細につきましては、2023年11月13日公表の「通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点において入手可能な情報に基づき判断したものであり、今後のさまざまな要因により、異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,938,720	5,711,697
受取手形及び売掛金	4,288,385	4,092,463
商品及び製品	5,476,995	5,126,191
仕掛品	406,387	439,818
原材料及び貯蔵品	1,260,708	1,382,573
前渡金	1,433	30,564
未収入金	904,454	1,083,165
その他	367,206	607,129
貸倒引当金	△25,238	△32,427
流動資産合計	17,619,052	18,441,176
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,831,421	9,572,402
機械装置及び運搬具(純額)	1,096,021	1,123,714
土地	4,504,320	5,192,056
リース資産(純額)	2,961,669	3,928,398
建設仮勘定	114,859	820,855
その他(純額)	664,717	621,194
有形固定資産合計	19,173,009	21,258,621
無形固定資産		
のれん	479,577	462,020
その他	723,046	671,360
無形固定資産合計	1,202,624	1,133,380
投資その他の資産		
投資有価証券	752,537	752,237
その他	1,264,077	1,329,648
投資その他の資産合計	2,016,615	2,081,885
固定資産合計	22,392,249	24,473,887
資産合計	40,011,301	42,915,064

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	687,822	425,187
短期借入金	12,608,963	13,050,015
リース債務	1,025,498	1,314,106
未払金	1,770,594	2,213,293
未払法人税等	9,060	704,827
賞与引当金	412,440	481,361
設備関係支払手形	81,133	115,619
製品保証引当金	64,350	80,620
その他	663,916	571,411
流動負債合計	17,323,780	18,956,441
固定負債		
長期借入金	5,040,562	4,839,449
リース債務	2,215,992	2,976,727
退職給付に係る負債	3,090,845	3,220,614
資産除去債務	39,774	39,774
その他	154,848	117,901
固定負債合計	10,542,024	11,194,466
負債合計	27,865,805	30,150,908
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,841,280	1,841,280
資本剰余金	3,103,744	3,083,744
利益剰余金	6,470,000	6,996,133
自己株式	△24	△48
株主資本合計	11,415,000	11,921,109
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	239,278	243,852
繰延ヘッジ損益	△2,452	15,109
為替換算調整勘定	150,327	304,351
退職給付に係る調整累計額	59,392	15,584
その他の包括利益累計額合計	446,545	578,896
非支配株主持分	283,950	264,149
純資産合計	12,145,496	12,764,156
負債純資産合計	40,011,301	42,915,064

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	14,884,621	15,947,341
売上原価	9,129,560	8,814,136
売上総利益	5,755,061	7,133,205
販売費及び一般管理費	5,277,714	5,825,607
営業利益	477,346	1,307,598
営業外収益		
受取利息	736	884
受取配当金	4,524	5,922
受取賃貸料	12,889	14,777
受取保険金	—	9,303
為替差益	105,870	93,168
助成金収入	13,653	15,667
売電収入	25,649	28,240
その他	13,267	13,427
営業外収益合計	176,592	181,391
営業外費用		
支払利息	87,179	96,210
その他	21,908	25,212
営業外費用合計	109,087	121,422
経常利益	544,851	1,367,567
特別利益		
固定資産売却益	48	—
投資有価証券売却益	—	75
特別利益合計	48	75
特別損失		
固定資産除却損	5,580	2
投資有価証券評価損	—	1,647
建物解体費用	92,918	—
関係会社株式評価損	—	21,399
特別損失合計	98,498	23,049
税金等調整前四半期純利益	446,401	1,344,593
法人税、住民税及び事業税	87,654	635,948
法人税等調整額	241,211	△87,803
法人税等合計	328,865	548,145
四半期純利益	117,536	796,448
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△15,957	△30,085
親会社株主に帰属する四半期純利益	133,493	826,533

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	117,536	796,448
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37,475	4,573
繰延ヘッジ損益	179,766	17,561
為替換算調整勘定	135,219	154,023
退職給付に係る調整額	7,712	△43,807
その他の包括利益合計	360,173	132,351
四半期包括利益	477,710	928,799
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	473,785	948,600
非支配株主に係る四半期包括利益	3,924	△19,801

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	446,401	1,344,593
減価償却費	1,273,839	1,263,963
のれん償却額	56,965	31,312
受取保険金	—	△9,303
建物解体費用	92,918	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	9,399	4,288
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△2,878	7,337
賞与引当金の増減額 (△は減少)	42,015	68,920
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	20,194	16,270
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△119,337	—
受取利息及び受取配当金	△5,261	△6,806
支払利息	87,179	96,210
固定資産売却益	△48	—
固定資産除却損	5,580	2
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△75
有価証券及び投資有価証券評価損益 (△は益)	—	1,647
関係会社株式評価損	—	21,399
売上債権の増減額 (△は増加)	551,720	249,214
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△848,874	306,128
前渡金の増減額 (△は増加)	△99,169	△29,130
未収入金の増減額 (△は増加)	△39,971	△175,871
仕入債務の増減額 (△は減少)	128,596	△275,446
未払金の増減額 (△は減少)	46,903	395,803
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△63,437	△146,445
その他	56,411	△88,211
小計	1,639,145	3,075,799
利息及び配当金の受取額	5,213	6,806
利息の支払額	△87,346	△93,024
法人税等の還付額	—	95,777
法人税等の支払額	△249,837	△15,852
保険金の受取額	—	9,303
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,307,176	3,078,810
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△37,280
保険積立金の解約による収入	2,055	—
有価証券の売却による収入	—	14,620
投資有価証券の取得による支出	△15,209	△514
有形固定資産の取得による支出	△650,576	△1,678,547
有形固定資産の売却による収入	48	—
無形固定資産の取得による支出	△4,982	△16,580
貸付けによる支出	△1,998	△1,499
貸付金の回収による収入	2,403	2,302
敷金及び保証金の差入による支出	△9,233	△12,140
敷金及び保証金の回収による収入	23,811	450
資産除去債務の履行による支出	△41,000	—
有形固定資産の解体による支出	△92,918	—
事業譲渡による収入	150,480	—
関係会社株式の取得による支出	—	△10,052
その他	△930	△2,118
投資活動によるキャッシュ・フロー	△638,051	△1,741,359

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,212,450	333,800
長期借入れによる収入	4,333	878,000
長期借入金の返済による支出	△1,156,583	△1,017,404
配当金の支払額	△299,146	△300,087
非支配株主からの払込みによる収入	96,300	—
自己株式の取得による支出	△0	△23
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△20,000
リース債務の返済による支出	△499,387	△490,059
財務活動によるキャッシュ・フロー	△642,034	△615,775
現金及び現金同等物に係る換算差額	20,628	14,021
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	47,718	735,697
現金及び現金同等物の期首残高	3,877,923	4,938,720
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,925,642	5,674,417

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他(注)	合計
	コンタクトレンズ・ ケア用品	計		
売上高				
外部顧客への売上高	14,821,574	14,821,574	63,047	14,884,621
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	14,821,574	14,821,574	63,047	14,884,621
セグメント利益又は損失(△)	1,047,168	1,047,168	△1,581	1,045,586

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれないセグメントであり、眼鏡及び眼内レンズ等を含んでおりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,047,168
「その他」の区分の損失(△)	△1,581
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△568,239
四半期連結損益計算書の営業利益	477,346

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の総務部や経理部、情報システム部等の管理部門に係る費用であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他（注）	合計
	コンタクトレンズ・ケア用品	計		
売上高				
外部顧客への売上高	15,884,664	15,884,664	62,677	15,947,341
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	15,884,664	15,884,664	62,677	15,947,341
セグメント利益又は損失（△）	1,886,899	1,886,899	△4,245	1,882,654

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれないセグメントであり、眼鏡及び眼内レンズ等を含んでおりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,886,899
「その他」の区分の損失（△）	△4,245
セグメント間取引消去	—
全社費用（注）	△575,055
四半期連結損益計算書の営業利益	1,307,598

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の総務部や経理部、情報システム部等の管理部門に係る費用であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。